三股町立文化会館自主文化事業

6つの新しいドラマ、6つの劇団、そして6つの音楽

毎年恒例となった、門川と宮崎と三股での戯曲講座「せりふ書いてみる?」
昨年度もまたこの講座で三股に6つの作品が生れました
その6作品をリーディング作品として上演します

今年も新鮮とれたてです
いえいえ、野菜の話ではなく、ドラマの話です
半年余りの戯曲講座で、受講生6人が
様々な人生を活写した6つの作品を書き上げたのです
今年は、宮崎、熊本の6劇団がその6作品の
リーディング上演をしてくれることになりました
毎回好評のピアノの生演奏ももちろんあります
ことばと音楽と、そして6つのドラマ
どうぞ自由にお楽しみください
永山智行（戯曲講座講師・総合演出・劇団こふく劇場）

SIX DRAMA
SIX THEATRICAL COMEDIAN
SIX SOUNDS

「戯曲」って?
演劇の台本は、文学的な分類としては「戯曲」と呼ばれます。詩や小説にも劣らない美しい言葉や物語性などが、「戯曲」の中にはたっぷりと詰まっています。

「リーディング」って?
欧米では古くから行われてきた上演形式で、俳優が椅子に座り台本を読みます。多くの場合は装置もなく、声によってすべてが表現されるので、観客は自由に想像力を膨らますことができます。

三股町立文化会館プロデュース
戯曲講座「せりふ書いてみる?」 受講生作品リーディング公演

三人ドラ

［読むドラマ］

作／07年度戯曲講座受講生、構成・総合演出／永山智行、企画・制作／三股町立文化会館

2008.5.25［日］

開演時間：A面／13:30～　B面／16:30～（開場は開演の20分前です）
場　　所：三股町立文化会館
料　　金：一　般（A面またはB面のみ）　¥1,000（当日¥1,200）
セット券（A面とB面の通し券）　¥1,500（当日¥1,700）
全席自由（※中学生以上）

A面

「酒は飲んでも飲まれるな」
作／なかじょう せいじ

金曜の夜、午後十時、居酒屋「五本松」。高校教師の俊夫は、かつての教え子、今市と偶然の再会を果たした…

◇出演　劇団こふく劇場

「風の薫る月には　」
作／森永 明男

休日の午後の病院。そこで再会した、三人の同級生たちの現在は…

◇出演／劇団第七インターチェンジ（熊本市）

「餃子占い」
作／内村 幸

大晦日の山崎家の恒例行事、それは、家族みんなで餃子を食べること……、ん?

◇出演／劇団「石」（熊本市）

中城　清治（なかじょう せいじ）

作品名：「酒は飲んでも飲まれるな」
1968年1月・門川町出身、日向高校で三年間演劇部で活動。1990年、大学卒業後、都城工業に六年間、劇団クロスピアで役者一筋。延岡工業に転勤後は「やく（役）をくれー」と、ちょい役もらいにいそしむ。佐土原に異動後、三股に居を構え、現在に至る。役者としては大小あわせて30作品以上・70ステージ以上出演。

森永　明男（もりなが あきお）

作品名：「風の薫る月には」
三股町在住の会社員。

内村　幸（うちむら みゆき）

作品名：「餃子占い」
呼び名：「うっちー」と呼ぶように!
星座：かに座
血液型：人からはO型と思われるA型
趣味：もっぱら模索中
好きな曜日：金・土・日
好きな歌手：ラブサイケデリコ
憧れる人：さりげなくインパクトある自己紹介が出来る人はない』

ヨムドラ!
［読むドラマ］

◇上演終了後のおまけ　「ポスト・パフォーマンス・トーク」
各回の終演後、作家と演出家、さらに出演者を交えてそれぞれの「戯曲」について語りあいます。
この際、訊いておきたいアノことや、ガツンと言っておきたいコノこと、そんなもやもやをお持ちのみなさんは是非どうぞ。
□お問い合わせ・予約／三股町立文化会館　TEL 0986-51-3462　FAX 0986-51-3561

B面

「かぞく」
作／假屋千寿子

山々に囲まれた一軒のペンション（なぜか和洋折衷の建物）。母と嫁いだ双子の姉妹は、母の結婚記念日を祝うためにやってきた…

◇出演／劇団25馬力（小林市）

「相撲漫談家に出会ったら」
作／大浦 太輔

地球を守る正義のヒーロー、エクセレントマン。そんなヒーローが倒した怪獣の処理をする地味な男達の物語。

◇出演／劇団ＳＰＣ（宮崎市）

「とまり木」
作／今村 理絵

11月のあるスカッと晴れた土曜日の昼下がり。縁側には、美智代と俊夫の夫婦、そして珍しく三人の娘たちが揃うことになる…。

◇出演／劇団ハック（日向市）

假屋　千寿子（かりや ちずこ）

作品名：「かぞく」
三股町在住。家族構成は主人・長男・長女・の4人家族。現在は夫婦2人の生活。体を動かすことが大好き「初夢」に、今年こそは運動をしよう!とかかげているものの、なかなか実行できずにいる。

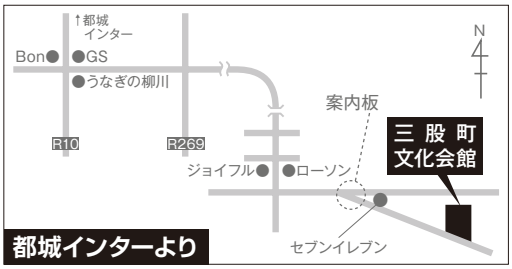
大浦 太輔（おおうら だいすけ）

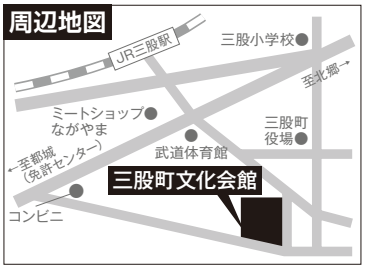
作品名：「相撲漫談家に出会ったら（怪獣後処理班の場合）」
1980年、宮崎県都城市生まれ。妄想家。落語、漫才、漫談、コント、時代劇などが好き。「大浦大輔」と書かれることが多いが、本当は「大浦太輔」と「ゝ」が入る。また、その発言や使用するネタ等から「本当は年齢を誤魔化しているのでは?」という「中年疑惑」があるが、れっきとした27歳（2008年2月現在）。

今村 理絵（いまむら りえ）

作品名：「とまり木」
福岡県出身。冬の青空に魅せられ宮崎人となる。趣味は登山とジョギングだったが、とんとご無沙汰中。今は「みやこのじょう子ども劇場」での活動が生活の中で幅をきかせ、そこでの様々な出会いが宝物となっている。夢多き夫と四人の子どものおかげで退屈することがない。好きな言葉は『夢』『人生何も無駄はない』

＊上演順は変更になる場合もございます。ご了承ください。
制作／三股町立文化会館・劇団こふく劇場
演奏／中村大介（劇団25馬力）





［主催］
三股町・三股町教育委員会
［プレイガイド］
○三股町立文化会館　☎0986-51-3642